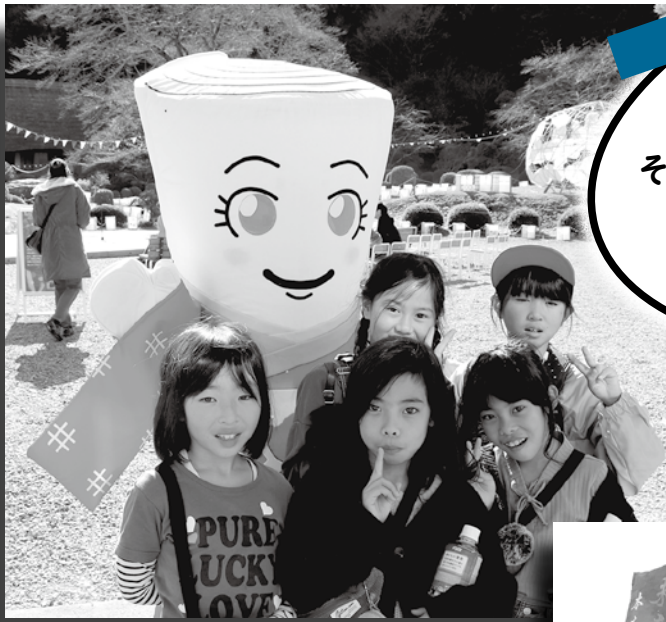


ランタンナイトの様子

和紙の里庭園に広がるまばゆい灯
訪れた人々はカメラ片手に
それぞれのお気に入りの場所を見つけ
一夜の思い出を作られていました



人々の気持ちが交差 する和紙文化の祭典

3回目を迎えた今年の和紙フェスは、16日(土)に恒例となった「ランタンナイト&村バル」をはじめ、本庄第一高校書道部のパフォーマンスとワークショップが行われ、子どもから大人まで書道に触れて楽しみました。

書道部生徒が大きな筆でリズムに乗って書き上げる大作は皆さんの心に大きな感動を与えてくれたことでしょう。

2日間通しての催しでは、「和紙ワークショップ&マルシェ」がありました。一昨年から体験できた「染め紙だるま」は今年も人気を博しており、「ランタン作り」も引き続き多くの人を呼びました。

そして、注目は「ハーバリウム・消しゴムはんこ・アロマサシェ」。女性を中心に人気の雑貨作りを体験できると、うれしい声が聞こえました。(右横・下写真)

17日(日)には、天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典においても演奏を披露した「鬼太鼓座(おんでこざ)」の皆さんによるワークショップとパフォーマンスが行われ、観客を魅了しました。

力強い太鼓のパフォーマンスは、バチが折れて飛ぶといった光景が見られるほどのもの。そのような強さで奏でる音は、爆音だけれども決して不快ではない、心臓の高鳴りとどこか似た心地よさがあるものです。鬼太鼓座は、本村の旧白石分校で合宿を行っており、村の行事によく参加していただいています。また演奏を聴く機会があると思いますので、お楽しみに。

来年も皆さんの期待にお応えできるよう、準備を進めていきます。皆さんの一年の予定行事となると幸いです。

